

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力のお願-

現在、泌尿器科では、本学で保管している診療後の残余検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 腎移植におけるオミクス解析研究

[研究対象者] 2014年4月1日（または承認日）から2029年2月1日までの間に東京女子医科大学泌尿器科にて腎移植を受けるレシピエント及びそのドナー、または腎移植後管理のために通院中のレシピエント患者

[利用している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体：移植腎レシピエント 0hr 生検検体（うち、残余があるものに限る。）、移植腎生検検体、生検時採血（血清、尿）

診療情報等：レシピエント/ドナー双方の年齢・性別・身長・体重・既往症・血液検査結果（検体採取日、腎機能 Cr 含む）、レシピエントとドナーとの関係性（血縁/非血縁）、移植年月日、組織適合性検査結果（ドナー-HLA 型、血液型含む）、抗ドナー抗体検査結果、腎生検検査結果、治療内容

測定項目 血中、尿中のドナー由来 cfDNA の割合を算出

[利用の目的]（遺伝子解析研究：無）

腎移植後の拒絶反応について解明することを目的としています。

[共同研究機関及び研究責任者]

上記の診療情報、および測定結果を、下記機関に対して解析のために提供します。

〔主な提供方法〕 直接手渡し 郵送・宅配 電子的配信 その他（ ）

国立国際医療センター 臨床研究推進部 部長 時田 大輔

国立がん研究センター がん細胞システム研究ユニット 独立ユニット長 関根 圭輔

また、当院に保存されている過去の病理残余検体の一部を国立がん研究センターに提供し、解析することもあります。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2029年2月までの間（予定）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 山中 寿

研究責任者：東京女子医科大学 泌尿器科 准教授 平井 敏仁

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 泌尿器科 准教授 平井 敏仁

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9時～16時）